

船舶事故調査報告書

平成29年10月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年5月5日 12時55分ごろ
発生場所	香川県小豆島町地蔵埼北東方沖 地蔵埼灯台から真方位043° 2.9海里付近 (概位 北緯34° 27.1′ 東経134° 16.5′)
事故の概要	ヨットWINGERは、北東進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年5月10日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット WINGER、6.6トン
船舶番号、船舶所有者等	260-33663兵庫、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	軽傷 1人（同乗者）
損傷	キールに擦過傷、船底外板等に剝離を伴う亀裂
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人3人を乗せ、小豆島町内海^{うちのみ}港へ向けて地蔵埼北東方沖を、機走しながら約4.8ノットの対地速力で手動操舵により北東進した。</p> <p>船長は、立って操舵に当たり、後方から接近するフェリーを避けようとして右転し、船首を地ノハナゲ西灯浮標東方沖に向けて航行を続けたところ、衝撃を感じて船体が停止し、'地ノハナゲと称する浅所'（以下「本件浅所」という。）に乗り揚げたことを知った。</p> <p>船長は、地ノハナゲ西灯浮標が右舷標識であることを知っていたが、本事故以前に他の小型船が同灯浮標の東側を航行しているのを見て、本船でも通ってみたところ、問題なく航行できたので、本事故時も問題なく航行できるものと思った。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.4m、中央のキール先端までが約1.5mであった。</p>
分析	<p>本船は、北東進中、船長が、右舷標識である地ノハナゲ西灯浮標の東側を航行したことから、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本事故以前に地ノハナゲ西灯浮標の東側を航行した際、問題なく航行できたことから、潮汐を考慮せず、同灯浮標の東側を航行した可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、北東進中、船長が、右舷標識である地ノハナゲ西灯浮標の東側を航行したため、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 航行海域付近の障害物、航路標識などを把握するとともに、潮汐等を確認しておくこと。
-----------	--